

8. 北海道肉牛研究会第13回大会

日時：10月27日(月) 於：新ひだか町静内公民館

シンポジウム：軽種馬地帯、広がる和牛生産「様々な課題と今後の取り組み」

話題提供：

1. 「北海道和牛産地確立を目指して」－北海道における肉用牛振興の取り組み－

道農政部畜産振興課 西村孝雄

北海道の和牛飼養頭数は全国第3位、繁殖牛主体で肥育牛は生産頭数の30%で少ない。道産素牛の価格は全国平均以下。北海道和牛産地高度化促進事業の解説。

2. 「一丸となって取り組む日高の和牛生産」－日高管内における肉用牛振興の取り組み－

日高町農業改良普及センター 平林清美

平成19年から開始した素牛生産、粗飼料主体飼養、代謝プロファイルテストによる適正飼養管理等の紹介

3. 「馬産地の和牛生産が地域を一新した」－改良組合における肉用牛振興の取り組み－

新ひだか町静内和牛生産改良組合 渡辺 隆

平成16年組合設立、異業種からの新規参入、軽種馬からの転換、馬生産者の飼養技術情報の交換等で質の高い育成牛飼養管理を達成。

4. 「哺育期の飼養管理改善が牛を飼えた」－生産者と関係機関による発育改善の取り組み－

日高町和牛生産改良組合 杉山憲由

平成18年から育成牛発育調査開始、代謝プロファイルテストの実施等で飼養管理を改善し、8ヵ月齢320kgの目標到達の事例紹介

5. 「自分らしく楽しい農業をめざして」－軽種馬経営における和牛導入の取り組み－

浦河町和牛生産改良組合 福田たまき

平成15年より軽種馬経営に和牛を導入する複合経営へ、素牛販売。馬5頭の収入は牛50頭の収入より大きい。複合経営の中心を馬から牛へ転換を模索。